

2020.05.22

【英国】デジタル・文化・メディア・スポーツ省、10代の若者を対象に「バーチャル・サイバーセキュリティ・スクール」を開校

デジタル・文化・メディア・スポーツ省（DCMS）は、5月1日、10代の若者を対象に、サイバーセキュリティのスキルを学ぶことができる「バーチャル・サイバーセキュリティ・スクール」を開校したことを発表した。

これは、国が次世代のプロのサイバーディフェンダーを育成する計画の一環で、ロックダウン期間中に、学生にオンライン自宅学習を通して様々な課外活動を提供することを目的としている。

同スクールでは、若者はサイバー・エージェントとしてゲームを進めながら、コードのクラック法、セキュリティ欠陥の修正、犯罪者のデジタル痕跡を分析する。また、同スクールでは、デジタルフォレンジック、暗号、オペレーティングシステムなどの基本的なセキュリティ分野を教える業界の専門家による無料のウェビナーも毎週提供される。

なお、英国政府は学生向けに、様々なオンライントレーニングコースを提供している。例えば、英国国家サイバーセキュリティセンター（NCSC）は「サイバーファースト夏期講習」を提供している。今年、同コースは1,000人以上の14～17歳が自宅からサイバーセキュリティを学ぶことを可能にするためオンラインへ移行し、同コースに登録した学生は、講師主導のバーチャル教室でサイバーセキュリティ操作のコーディング、実装法を学ぶことができる。

また、国家犯罪庁（National Crime Agency : NCA）及び非営利団体サイバーセキュリティチャレンジ英国は、10代の若者に対し、今後数か月の間、オンラインサイバースキルプラットフォーム「CyberLand」の無料アクセスを提供する。これは、サイバーセキュリティの基礎を教えるために設計されたゲームによって、プレイヤーは重要なスキルを学びながら、サイバー攻撃からバーチャル都市「CyberLand」を保護するものである。